

法学部A方式Ⅱ日程・国際文化学部A方式  
キャリアデザイン学部A方式

## 3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～22	日 本 史	24～36
世 界 史	38～55	地 理	56～65
数 学	66～68		

## 〈注意事項〉

- 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 試験開始後の科目の変更は認めない。
- 数学については以下の注意事項も参照すること。
  - 解答を導く途中経過も書くこと。
  - 解答はおもて面に記入すること(裏面は採点の対象にならない)。
  - その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
  - 定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
- マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

## マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

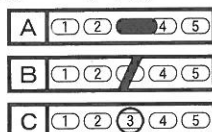
## 記入上の注意

- 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

- 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
- 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
- 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

# (日 本 史)

〔I〕 つぎの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

奈良時代の律令制度は、中央集権的な行政をおこなうために、官吏を必要とした。その養成機関として、都に貴族の子弟を対象にする [ 1 ] を、地方に郡司の子弟などを対象にする国学をおき、儒学を中心とする諸学を教えた。平安時代になると、橘氏の [ 2 ] のように、有力な諸氏には一族の子弟が寄宿する [ 1 ] 別曹がもうけられた。 [ 1 ] は、前代に続き、官吏を養成するもので、そこでは儒学を学ぶ [ 3 ] などが教授された。

禅僧によって中国からもたらされた儒学の一派である [ 4 ] 学は、戦国時代になると、領国を統治するための学問として、戦国大名らに受け入れられた。たとえば、土佐の南村梅軒、肥後の菊池氏や薩摩の島津氏に厚遇された禅僧の [ 5 ] は有名である。 [ 5 ] は [ 4 ] の著した [ A ] を刊行して、のちの薩南学派のもとを築いた。

江戸時代にも儒学は大いにさかんとなった。なかでも藤原惺窩を祖とする京学と、南村梅軒にはじまるとされる南学は [ 4 ] 学<sup>B</sup>の一派として多くの学者を輩出した。 [ 4 ] 学<sup>B</sup>に対して、同じ儒学でありながら他派の [ 6 ] 学を学んだ中江藤樹は「近江聖人」と呼ばれ [ C ] 説を主張した。また、 [ 7 ] は、多くの儒学者が明・清を「中華」とする考え方に同調しているのを批判して、日本を「中朝」「中華」とみなす思想をもち、『中朝事實』を著した。古代の聖賢にたち帰ることを主張した [ 7 ] は、伊藤仁斎らとともに古学派と呼ばれる。

一方、日本古来のあり方を説く国学も発展した。本居宣長は30年以上の歳月をかけて [ D ] を著して、日本古来の心のありさまを説いた。そのあとに続く [ 8 ] も、儒教や仏教という外来思想を排斥して古神道を主張し(復古神道)、幕末の尊王攘夷運動に多大な影響をあたえることになった。

問1 空欄  ～  に入るもっとも適切な語句を、つぎのア～ネのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |         |        |        |
|--------|---------|--------|--------|
| ア 山鹿素行 | イ 明法道   | ウ 弘文院  | エ 本草学  |
| オ 桂庵玄樹 | カ 教学    | キ 万里集九 | ク 開成所  |
| ケ 太宰春台 | コ 学館院   | サ 平田篤胤 | シ 貝原益軒 |
| ス 林子平  | セ 綜芸種智院 | ソ 賀茂真淵 | タ 大学   |
| チ 荻生徂徠 | ツ 新井白石  | テ 朱子   | ト 紀伝道  |
| ナ 明経道  | ニ 熊沢蕃山  | ヌ 勸学院  | ネ 陽明   |

問2 空欄  に入るもっとも適切な語句を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『聖教要録』    イ 『庭訓往来』    ウ 『節用集』    エ 『大学章句』

問3 下線部Bについて、つぎのア～エのなかから、南学の系統ではない人物を一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 山崎闇斎    イ 野中兼山    ウ 谷時中    エ 木下順庵

問4 空欄  に入るもっとも適切な語句を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 垂加神道    イ 知行合一    ウ 陰陽五行    エ 天人合一

問5 空欄  に入るもっとも適切な語句を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 『国意考』    イ 『万葉代匠記』    ウ 『群書類従』    エ 『古事記伝』

〔Ⅱ〕 つぎの文章1～6を読んで、下記の問いに答えよ。

- 1 7世紀まで、天皇はそれぞれに自分の宮をもったので、天皇がかわるたびに宮もかわるのがつねであった。しかし、7世紀の末に藤原京が都に定まると、3人の天皇が、即位してから死去するまで、藤原宮に住み続けた。ついで <sup>a</sup>3人の天皇が、即位してから死去するまで、藤原宮に住み続けた。 ついで <sup>b</sup>□ A □ のとき、都が藤原京から平城京にかわると、平城宮は数人の天皇の宮として継続した。即位してから死去するまで平城宮に住み続けた最後の天皇は □ B □ である。ただし、その間、別の地に宮を設けた天皇もいた。 <sup>c</sup>
- 2 平安時代になると、官省符荘と呼ばれる荘園が増加した。官省符荘とは中央政府が独自に開墾事業をおこなって、その租税を免除した荘園である。一方、国免荘と呼ばれるのは、国司が自分の裁量で租税の免除を認定した荘園であり、 <sup>a</sup>国免荘と呼ばれるのは、国司が自分の裁量で租税の免除を認定した荘園であり、 <sup>b</sup>国司が替われば租税の免除が取り消されることもあったので、国司と荘園領主の紛争が頻発した。そこで、中央政府はその対策としてたびたび荘園整理政策 <sup>c</sup>を実施した。なかでも □ C □ がおこなった荘園整理が有名である。
- 3 鎌倉幕府は平家や奥州藤原氏と戦い、さらに後鳥羽上皇と戦ったが、それによって、それらの敵方の全国にわたる膨大な所領を没収して將軍の荘園とし、 <sup>a</sup>その地頭職を御家人に与えた。御家人の所領は全国各地にひろがり、しだいに <sup>b</sup>それぞれの所領を相続した者が現地に移り住んで、一族は全国各地に分散するようになった。 <sup>c</sup>鎌倉幕府が崩壊すると、彼らの一族としての結びつきは希薄になり、それぞれがその居住地で独立し、国人と呼ばれるようになった。
- 4 江戸時代、北方では松前氏が独占的にアイヌと交易していたが、幕府は財政 <sup>ひっぼく</sup>の逼迫するなかで北方への関心を高める。蝦夷地開発とロシアとの交易を説く『赤蝦夷風説考』(仙台藩医工藤平助著)の献上 <sup>a</sup>を受け、1785(天明5)年から翌年にかけて □ D □ <sup>b</sup>らを含む調査隊を蝦夷地に派遣した。1792(寛政4)年ロシア使節ラクスマンが根室に来航して通商をもとめる事件が起こり、危機感を

のらせた幕府は、1798(寛政10)年には  や  らを東蝦夷地・千島列島の探査に派遣した。さらに  が、1808(文化5)年から翌年にかけて樺太とその対岸を探検した。その間、  に測量術を授けた伊能忠敬もまた蝦夷地や樺太において測量を行なっている。

5 日本沿岸の防備の必要性については、ロシアの使節が来航するようになる以前から、すでに林子平が『海国兵談』<sup>a</sup>において説いていた。そうした対外警戒論の一方で、本多利明は『西域物語』『経世秘策』を著して貿易振興の必要を説き、<sup>b</sup>佐藤信淵も『経済録』<sup>c</sup>において貿易の拡大を主張した。

6 近世においては、異国の知識や文化の流入経路が限られるなか、かえって人々の間では異国的なものへの関心が高まった。絵画の分野では、呉春<sup>a</sup>が西洋画や中国画に触発されて独自に写生の技法を確立し、その後の絵画史に多くの影響を与えた。また、司馬江漢や垂欧堂田善による、風景を写實的に捉えた西洋風銅版画<sup>b</sup>が人気を博し、池大雅や谷文晁らの文人画は中国的な風景や人物を描いて知識人たちに好まれた。<sup>c</sup>

問1 1～6の各文章の下線部a～cのなかから正しくないものをそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。なお、下線部a～cがすべて正しい場合には、dをマークせよ。

問2 空欄  ～  にあてはまる人物を、つぎのア～サのなかからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |         |         |        |         |
|---------|---------|--------|---------|
| ア 後醍醐天皇 | イ 称徳天皇  | ウ 光仁天皇 | エ 後三条天皇 |
| オ 文武天皇  | カ 後一条天皇 | キ 元明天皇 | ク 桓武天皇  |
| ケ 持統天皇  | コ 聖武天皇  | サ 元正天皇 |         |

問3 空欄  ~  にあてはまる人物を、つぎのア～サのなかからそれぞれ一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 高田屋嘉兵衛

イ 間宮林蔵

ウ 山田長政

エ 高橋至時

オ 桂川甫周

カ 近藤重蔵

キ 支倉常長

ク 大黒屋光太夫

ケ 最上徳内

コ 高橋景保

サ 高島秋帆

〔Ⅲ〕 つぎの1, 2の史料を読んで、下記の問いに答えよ。

1 異国船渡来の節取計方、前々より数度仰出されこれ有り。〔A〕船の儀に付ては、文化の度改めて相触れ候次第も候処、〔B〕の船先年長崎に於いて狼藉に及び、近年は所々え小船にて乗寄せ、薪水食料を乞ひ、去年ニ至り候ては猥ニ上陸致し、或は廻船の米穀、島方の野牛等奪取り候段、追々横行の振舞ひ、其上邪宗門勤め入候致方も相聞え、旁捨置かれ難き事ニ候。(略)南蛮、西洋の儀は、御制禁邪教の国ニ候間、以来何れの浦方ニおゐても、異国船乗寄せ候を見受け候ハゞ、其所ニ有合候人夫を以て、有無に及ばず、一図ニ打払ひ、逃延び候ハゞ、追船等差出すに及ばず、其分ニ差置き、若し押て上陸致し候ハゞ、搦捕り、又は打留候ても苦しからず候。(略)尤〔C〕・朝鮮・〔D〕などは船形・人物も相分るべく候得共、〔E〕船は見わけも相成兼申すべく、右等の船万一見損ひ、打誤り候共、御察度はこれ有る間敷候間、二念無く、打払ひを心掛け、図を失はざる様取計ひ候処、専要の事に候条、油断無く申付けらるべく候。(出典『御触書天保集成』)

問1 〔A〕～〔E〕に入る語句を、つぎのア～ソのなかからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| ア かれうた | イ 清    | ウ 唐    | エ 明   |
| オ 阿蘭陀  | カ いきりす | キ 西班牙  | ク 仏蘭西 |
| ケ をろしや | コ 交趾   | サ 亜墨利加 | シ 葡萄牙 |
| ス 安南   | セ 琉球   | ソ 印度   |       |

問2 この法令が出されたときの将軍の名を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|
| ア 徳川家治 | イ 徳川家重 | ウ 徳川家慶 | エ 徳川家斉 |
|--------|--------|--------|--------|

問3 この法令により、1837(天保8)年に相模の浦賀と薩摩の山川で撃退された船の国名と名称を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アメリカのモリソン号                      イ アメリカのコロンブス号  
ウ イギリスのフェートン号                  エ イギリスのアロー号

2  なども[中略]脱ぎ捨ててきたキモノの一つにすぎないのです。[中略]わたくしが  創立の決心[中略]をしたのは明治四十四年で、二十五の時でした。[中略]「女性みずからの手によって、女性みずからのための雑誌を出す、そしてそこから女性天才を産み出そう」。これは  が第一に掲げた一つの標語でありました[中略]  は最初から、[中略]婦人覚醒運動とか、解放運動とかいうような[中略]婦人団体のごときものではありませんでした。[中略]多数が団結して、共同の敵にあたるというような考えは微塵もまだ持っていないのでしたから。[中略]わたくしたちの中のある者はいち早くこの個人的立場を捨てて  に走り、  的見方や考え方によって新たな進路を見出そうともがきあせりました。こうしてわたくし自身は[中略]五年という歳月の間身につけていた『  』というキモノを何の未練もなく道ばたに脱ぎ捨ててしまいました。(出典『太陽』1927年6月号)

問4 この史料の筆者をつぎのア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 木下尚江                                      イ 尾崎紅葉  
ウ 樋口一葉                                      エ 平塚らいてう(明)

問5 空欄  に入る語句をつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 愛国婦人会      イ 青鞜社                      ウ 平民社                      エ 新婦人協会



問6 空欄  に入る語句は、幸徳秋水や片山潜らの思想に関わるものである。もっとも適切な語句をつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 資本主義      イ 自然主義      ウ 社会主義      エ 軍国主義

問7 下線部に関連して、「明治四十四年」当時、女子・未成年者などの政治結社への加入や政談集会への参加を禁止していた法令を、つぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 治安警察法      イ 破壊活動防止法  
ウ 讒謗律      エ 治安維持法

問8 空欄  (雑誌名)に関連して、もっとも関係のうすい人物をつぎの

ア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 与謝野晶子      イ 長沼(高村)智恵子  
ウ 伊藤野枝      エ 小山内薫

問9 雑誌『太陽』で編集を務め、また日本主義をとなえた人物をつぎのア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 徳富蘇峰      イ 陸羯南      ウ 高山樗牛      エ 志賀重昂

〔IV〕 つぎの1～4の文章を読んで、下記の問いに答えよ。

- 1 日本は朝鮮半島<sup>(1)</sup>をめぐる清国と次第に対立を深めた。日清戦争ののち、列国が清国へ進出し利権を拡大したが、これに対して清国内では烈しい排外運動<sup>(2)</sup>が起きた。これをきっかけとして北清事変が起き、列国は敗れた清国と北京議定書を結び外国軍隊の駐留を清国に認めさせた。日露戦争の結果、日本は満州に進出し南満州鉄道株式会社(満鉄)を設立したが、こののち、日本の満州経営<sup>(3)</sup>に対する国際的な警戒心が強まった。

問1 下線部(1)について、この時期の朝鮮半島に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 金玉均を中心とする親日派がクーデターに成功し、清国の干渉に屈しなかった。
- イ 日本単独で壬午軍乱に干渉して事態を收拾した。
- ウ 朝鮮政府内では清国との伝統的関係を維持する立場とロシアに接近する立場が対立していた。
- エ 朝鮮をめぐる日清両国の関係について天津条約が結ばれた。

問2 下線部(2)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 扶清滅洋を掲げた康有為が運動の指導者であった。
- イ 清国政府はこの運動を弾圧し続けた。
- ウ この運動は山東省で始まった。
- エ この運動はキリスト教を受けいれていた。

問3 下線部(3)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イギリスは満鉄について列国共同経営を提唱した。

イ 旅順に関東都督府が設置された。

ウ アメリカ合衆国のキッシンジャー国務長官は1899年の門戸開放宣言で中国の領土保全を提唱した。

エ ロシアは満鉄並行線の敷設を計画していた。

2 第1次世界大戦は日本をとりまく国際環境を大きく変えた。パリ講和会議<sup>(4)</sup>では新たなヨーロッパの国際秩序形成が目指された。ワシントン会議<sup>(5)</sup>ではアジア・太平洋地域の国際協調に向けていくつかの条約が結ばれた。日本はワシントン会議に参加して海軍軍縮条約を結んだが、1930年代に入ると、中国ナショナリズムの高まり、大恐慌などの要因により、アジア・太平洋地域の国際協調は次第に動揺を深める。陸軍内部には満州の占領をめざす動きが生じ、満州事変<sup>(6)</sup>を経て、海軍軍縮条約が失効し、日本の協調外交は大きく後退した。

問4 下線部(4)の会議に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 原敬内閣が加藤友三郎を全権としてパリに派遣した。

イ 強力な武力制裁権限を持つ国際連盟が設立された。

ウ 日本が山東省の旧ドイツ権益を継承し、これに反発して中国国内で五・四運動が起きた。

エ この会議で日英同盟の廃棄が決まった。

問5 下線部(5)の会議で活躍した外交官をつぎのア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 加藤高明      イ 陸奥宗光      ウ 幣原喜重郎      エ 小村寿太郎

問6 下線部(6)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 奉天・吉林・湖南の3省と熱河省・内蒙古の領域が満州国となった。
- イ 犬養毅内閣は日満議定書により満州国を承認した。
- ウ 清朝最後の皇帝である溥儀を執政として満州国が樹立された。
- エ 第一次若槻礼次郎内閣は事変を拡大させないとする方針を出したが、関東軍を抑えることができなかった。

3 1933年に日本は中国と停戦協定を結び満州事変は一段落となった。しかし、その後、関東軍は中国で華北分離工作を進め、華北を支配しようとした。1937年7月、日中戦争が勃発し、同年10月には日中和平交渉が始まったが、この交渉は程なく日本側から打ち切られた。1939年にヨーロッパで第2次世界大戦が始まると、当初ドイツの軍事的勝利がめざましく、日本はこれに乗じて、1940年に北部仏印(フランス領インドシナ)への進駐を開始した。この頃から日米関係は極度に悪化し、日本はこの難局を打開するため日米交渉を進めた。しかし、1941年11月にはアメリカ合衆国側からハル＝ノート(国務長官ハルが示した対日提案)が提示され、これを日本は最後通告に等しいものと見て、日米交渉を不成功と判断し、米英に対する開戦に踏み切った。

問7 下線部(7)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アメリカ合衆国が和平の仲介を行った。
- イ 日本政府は東亜新秩序声明を発して交渉を打ち切った。
- ウ 和平交渉打ち切り後、国民政府は重慶へ移り長期持久戦に入った。
- エ この時政権を担当した内閣は、岡田啓介内閣であった。

問8 下線部(8)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アメリカ合衆国はこれを非難して石油の対日輸出禁止に踏み切った。
- イ 日本はベトナムの独立と親日政権の樹立を目的としていた。
- ウ 日本はこれに先だって南部仏印進駐を行っていた。
- エ この直後、日独伊三国同盟が結ばれた。

4 1945年8月15日、日本は敗戦を迎え、連合国の占領下に入った。日本と連合  
国との講和、そして占領を終結させるために、1951年9月サンフランシスコで  
対日平和条約が調印された。1950年代の半ばになると、冷戦体制のなかで米・  
<sup>(10)</sup>ソ両陣営のいずれにも属さない第3勢力がA・A(アジア・アフリカ)会議を開  
催した。1970年代には国際社会に激しい変動が生じ、この変動は日本にも大き  
な影響を及ぼした。<sup>(12)</sup>

問9 下線部(9)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 連合国の日本管理機構は対日理事会を最高機関としていた。
- イ 1952年4月に占領は終結した。
- ウ 占領は降伏文書の調印式後に開始された。
- エ 4カ国から構成される極東委員会が東京に設置された。

問10 下線部(10)に関係する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 条約発効後、日米安全保障条約が調印された。
- イ 条約には中国が調印した。
- ウ 条約では沖縄・小笠原・奄美の諸島がアメリカ合衆国の施政権下に置か  
れた。
- エ 条約に調印した日本政府代表は重光葵外相であった。

問11 下線部(11)に関する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア この会議はジュネーブで開催された。
- イ この会議は核兵器廃絶を宣言した。
- ウ この会議はインドシナ戦争の休戦に合意した。
- エ この会議は「平和十原則」を採択した。

問12 下線部(12)に関する説明として正しいものをつぎのア～エのなかから一つ  
選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア ドル＝ショックによって高度経済成長の時代は終わった。
- イ 田中角栄首相が北京を訪問し、日中国交正常化を行った。
- ウ 第3次中東戦争により石油ショックが起きた。
- エ 福田赳夫首相が第1回サミット(先進国首脳会議)に参加した。

(白 紙)